

令和3年度 第1回

安城市博物館協議会

令和3年5月21日(金)

午後1時30分～

歴史博物館・講座室

市民憲章唱和

1 あいさつ

2 協議事項

(1) 令和2年度事業報告

(2) 令和3年度事業計画(案)

3 その他

(1) 今後の日程

- ・第2回 7月27日(火) 午後1時30分
- ・合同研修 開催未定
- ・第3回 令和4年1月下旬(予定)

安城市博物館協議会委員

(任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日)

	氏名	選任区分	備考
委員	加藤 りせ子	社会教育	
委員	加藤 正彦	学校教育	
委員	荒井 信貴	学識経験者	
委員	高山 忠士	学識経験者	
委員	市川とし子	学識経験者	
委員	平岩 政志	公募委員	

安城市民憲章

わたくしたちは安城市民です。
わたくしたちの愛する安城を、いっそう魅力にみちた
生きがいのあるまちにするため、市民生活の心がまえとして、
この憲章を定めます。

わたくしたちは、

- *たがいに助け合い、住みよいまちをつくりましょう。
- *きまりを守り、良い習慣を育てましょう。
- *自然を愛し、きれいな水とみどりのまちをつくりましょう。
- *教養を高め、若い力を育てましょう。
- *健康で、明るく楽しい家庭をつくりましょう。

—昭和47年11月1日制定—

●安城市民憲章推進協議会●

(1) 令和2年度事業報告

ア 利用状況

(ア) 月別入館者数

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため、4/11(土)～5/19(火)休館。

月	展示観覧者						行事参加者	文献資料室 利用者	その他	延べ入館者 合計
	有料		無料		計					
	大人	計	大人 中学生以下	計	大人計 中学生以下計	合計				
4	18	18	413	450	431	468	79	5	140	692
			37		37					
5	54	54	277	380	331	434	130	0	84	648
			103		103					
6	179	179	1,174	1,428	1,353	1,607	448	17	332	2,404
			254		254					
7	916	916	511	949	1,427	1,865	1,691	14	433	4,003
			438		438					
8	2,617	2,617	1,758	3,007	4,375	5,624	5,539	14	400	11,577
			1,249		1,249					
9	864	864	624	962	1,488	1,826	1,386	16	330	3,558
			338		338					
10	2,776	2,776	1,259	2,225	4,035	5,001	2,210	11	1,174	8,396
			966		966					
11	1,507	1,507	795	1,133	2,302	2,640	1,268	13	481	4,402
			338		338					
12	81	81	1,230	1,441	1,311	1,522	115	10	310	1,957
			211		211					
1	431	431	694	837	1,125	1,268	758	14	233	2,273
			143		143					
2	3,212	3,212	1,242	1,521	4,454	4,733	5,023	12	430	10,198
			279		279					
3	1,079	1,079	447	627	1,526	1,706	1,953	11	370	4,040
			180		180					
計	13,734	13,734	10,424	14,960	24,158	28,694	20,600	137	4,717	54,148
			4,536		4,536					

(イ) 利用形態別入館者数

月	企画展 観覧者	常設展 観覧者	講演会 (シンポジウム 含む)	歴博講座	体験講座	連続講座	入門講座	その他 イベント	歴博イベ ント	歴博演芸場	企画展 関連イベ ント	文献資料 室	その他	延べ利用 者合計
4	399	69	0	0	0	0	0	0	0	0	79	5	140	692
5	342	92	0	0	0	0	0	0	0	0	130	0	84	648
6	1,326	281	0	0	0	0	0	0	0	0	448	17	332	2,404
7	992	873	23	0	6	0	0	0	0	0	1662	14	433	4,003
8	3,546	2,078	0	0	78	0	0	0	97	0	5364	14	400	11,577
9	994	832	0	0	0	0	0	0	0	0	1386	16	330	3,558
10	3,627	1,374	85	0	10	15	0	0	0	90	2010	11	1174	8,396
11	1,900	740	0	0	24	22	26	0	0	0	1196	13	481	4,402
12	1,352	170	0	36	28	13	14	0	21	0	3	10	310	1,957
1	1,018	250	51	11	0	0	14	0	559	31	92	14	233	2,273
2	3,852	881	※234	0	0	0	0	0	4371	30	388	12	430	10,198
3	1,149	557	51	28	116	18	0	0	1465	161	114	11	370	4,040
計	20,497	8,197	444	75	262	68	54	0	6,513	312	12,872	137	4,717	54,148

※松平シンポジウムは講座室 28 人のみカウント。安祥公民館 37 人は含めず。

その他内訳

部屋利用等	1,046人	職場体験	4人
安祥文化のさとまつり	685人	多目的利用	2,940人
博物館実習（延べ）	42人		

<参考> 令和元年度との比較

行事名等	元年度	2年度	行事名等	元年度	2年度
展示観覧者	20,521	28,694	歴博イベント	1,890	6,513
講演会	87	444	上映会	594	廃止
歴博講座	50	75	歴博演芸場	734	312
体験講座	541	262	展示関連イベント	9,477	12,872
連続講座	199	68	文献資料室	118	137
イベントその他	0	0	その他	3,471	4,717
入門講座	129	54	合計	37,811	54,148

(ウ) 収蔵資料貸出状況

a 資料貸出 6件 (19点)

寺領廃寺・別郷廃寺瓦、聖徳太子絵伝、薬師如来像、不動明王像、内行花文鏡など

b 画像提供 27件 (117点)

駕籠、和泉村酒造家略図トレース、三河国碧海郡新開一件願、筆勢非凡、三人旅日記、明治航空基地平面図、和泉そうめん古写真、大阪夏の陣配陣図、震災関係書類綴、南蛮屏風、松平清康公之像、主図合結記など

c 資料調査・その他 17件 (168点)

山崎町内会資料、震災関係書類綴、暮戸教会資料、職員名簿、たなはた、大心院軍人木像、本證寺文書、農耕風俗画卷、小倉造兵廠史など

イ 収集・保管活動

(ア) 寄贈資料 15件

- ・小川町伊勢家資料 算盤
- ・西別所町若杉家資料 悠基斎田関係資料
- ・岡崎市山中家資料 戦時中の看護婦の資料
- ・今本町稲垣家資料 安城市鑑札付自転車
- ・高棚町山口家資料 昭和33年度新嘗祭関連文書資料
- ・古井町松下家資料 戦時中のサイレン
- ・安城町杉本家資料 征露日記等文書資料
- ・尾崎町神谷家資料 尾崎村近世文書
- ・岡崎市伊藤家資料 戦時中の工兵使用の鋸・巻脚

- ・相生町今岡家資料 大正9年第1回国勢調査愛知県広報、足助町関係書類等
- ・安城町神谷家資料 大八車車輪
- ・東京都長谷川家資料 東京三好弥関連資料
- ・里町原家資料 養蜂巣箱・遠心分離機
- ・上条町浄玄寺資料 相撲関係書籍等
- ・前市史入稿原稿資料 1970年発刊の市史原稿

(イ) 購入資料 9件40点

- ・地方凡例録(江戸時代) 11冊
- ・伊香保志(明治15年) 3冊
- ・日光山志(天保8年) 5冊
- ・美濃奇観(明治12年) 2冊
- ・女諸礼綾錦 全(宝暦5年) 1冊
- ・四季草木養活伝 全(嘉永4年) 1冊
- ・校正 地方落穂集(明治3年) 7冊
- ・西南征討史略(明治11年) 9冊
- ・関ヶ原御合戦御備図(江戸時代) 1冊

(ウ) 寄託資料

- ・新規なし

ウ 展示活動

(ア) 常設展展示替え

月 日	変更箇所	内 容
8月8日	古代集落、村の文化	博物館実習生による
8月31日	顔のメッセージ	本館蔵複製品資料

(イ) 特別展・企画展

	区 分	名 称	期 間	目標値	実績値
	特別企画	ポスターで振り返る安城市 歴史博物館の30年	4月1日 ～4月10日	1,000人	399人
①	企画展	安城の今昔2 こよみとく らしー冬暖夏涼・季節道具ー	4月25日 ～6月28日	2,500人	1,668人
②	特別展	終戦75周年記念 戦争に行くということ	7月18日 ～9月13日	5,000人	5,532人
③	特別展	江戸の遊び絵づくし	10月3日 ～11月15日	7,000人	5,527人
④	企画展	終戦75周年記念 描かれた戦争ー警察官が見 た戦中戦後の愛知ー	12月5日 ～1月11日	2,500人	1,971人
⑤	特別展	開館30周年記念 家康と松平一族	1月30日 ～3月7日	6,000人	5,400人
合 計				24,000人	20,497人
元年度					13,211人

① 企画展「安城の今昔2 こよみとくらしー冬暖夏涼・季節道具ー」

1 会 期 令和2年4月25日(土)～6月28日(日) 実開館日 57日
※新型コロナウイルス感染症の影響により、5月19日(火)まで閉館 実開館日 35日

2 観覧者数 1,668人【目標2,500人】1日平均47人

3 期間中の催し物

主なものは「エ 教育普及活動」(12ページ～)に記載

4 音声ガイドの利用状況 58人 (利用率3.5%)

5 パンフレット 1,600部発行(無料配布)

6 展示について

- (1) 展示点数179点(パネル写真含む)
- (2) 春は洗濯道具、夏は涼む道具や虫を除ける道具など、それぞれの季節で使用する民具に焦点を当てて展示した。更に、昭和30年頃の夏と冬の家庭の様子を再現した展示を行い、その中で当時の生活模様や使用された民具を紹介した。
- (3) 伊勢暦(嘉永7年)の記載内容の拡大パネルや用語の解説シートを配置することで、当時の生活に密着した吉凶などについて紹介した。
- (4) キャプションで紹介しきれなかった民具の一部を、子どもでも理解しやすいように簡単な言葉で説明するパネルを作成した。

7 観覧者について

- (1) 新型コロナウイルス感染症の影響で約1か月間閉館したことで、展示を見せる期間も縮小してしまった。再開後も外出自粛が国から謳われていたため、積極的な展示のPRもしづらい状況となった。
- (2) 展示観覧者数が目標値の66%となった。例年、この時期に行われる小中学校の見学学習が相次いで中止となり、子どもたちに展示を見てもらう機会が激減してしまった。しかし、6月以降から徐々に来館者が増え、中旬の土日は平均100人を超える観覧者数を記録した。
- (3) 展示関連イベントや講座が中止したため、展示の観覧を誘発するような機会も減少してしまった。

② 終戦75周年記念特別展「戦争に行くということ」

1 会 期 令和2年7月18日(土)～9月13日(日) 実開館日51日

2 観覧者数 5,532人【目標5,000人】1日平均108人

3 期間中の催し物
主なものは「エ 教育普及活動」(12ページ～)に記載

4 音声ガイド 中止

5 展示図録 1,000冊発行 販売数203冊

6 展示について

(1) 展示点数250点

(2) 今回は、戦争に行った兵士たちを中心にした展示だが、徴兵から入営し、訓練を受けて部隊に所属し、除隊や戦死などで戻るところまでの資料を展示した。他館ではこのような内容の展示はしていないため、展示の流れが違い、また展示内容を豊富にし、様々な種類の資料を展示したことで、観覧者にはこの展示を新鮮に感じてくれていたと思われる。

(3) 戦争の良し悪し、正否については、展示内ではできるだけ表現しないようにした。これは、観覧者が自己判断することが重要であるという立場からである。アンケートを見る限り、展示制作側の真意は理解してもらえたと思われる。

7 観覧者

(1) 夏休みであり、終戦75周年の年でもあるので、目標の動員を達成することができた。しかし、会期はじめの7月18日から8月7日までの観覧者は少なく、終戦記念日前後の会期中盤から多くなった。8月6日に愛知県に緊急事態宣言があり、その前の7月中旬から流行の第2波が叫ばれていたこともあり、出控えていた可能性がある。

(2) 新型コロナウイルスの影響のため、音声ガイド・展示解説・一部の記念講演会等を中止とした。観覧者の動線スペースが狭いことや、観覧時間が平均的に長く、会期中盤から観覧者が増えたことから、密をもたらし、観覧者を不安にさせる要因となったと思われるので、妥当な判断であった。

(3) 本展は男性が多い傾向にある歴史系展示であるが、アンケートでは男女の比率がほぼ同じであった。また、他市で戦争に関わる展示をしている博物館・資料館が少なく、そのため市内より県内市外の方が多く観覧された。また、家族連れやカップル、30代から50代の実年齢の夫婦などの観覧者が多いと感じた。

(4) エントランスでの関連企画「パラシュート隊になって写真を撮ろう！」は違和感をもつ観覧者がいた。当方としても軽率な名称と事業であり、演出方法を考慮すべきであったと反省している。

③ 特別展「江戸の遊び絵づくし」

- 1 会 期 令和2年10月3日(土)～11月15日(日) 実開館日38日
- 2 観覧者数 5,527人【目標7,000人】1日平均145人
- 3 期間中の催し物
主なものは「エ 教育普及活動」(12ページ～)に記載
- 4 音声ガイドの利用状況 495人(利用率9.0%)
- 5 図録 「江戸の遊び絵づくし」(アートワン発行) 販売数351冊(委託販売)

6 展示について

- (1) 展示点数110点
- (2) 「遊び絵」というなじみの薄い言葉ではあったが、江戸時代の仕掛けのある浮世絵は実際目にするると観覧者の満足度は高かった。一作品一作品を楽しんで鑑賞するという美術作品鑑賞とは異なった見方を提供することができた。また、体験模型などもあり、遊び絵の具体的な使い方を提示できたことは、その理解を深めるのに役立った。
- (3) 企画買取展示であったが、1年前に他館での開催状況等を視察し、展示構成等を早くに検討した。また作品選定もおいても希望作品の出陳を依頼し、当館の責による展覧会にすることができた。
- (4) 作品点数が110点と広重展と同程度であったため、それを参考に配置、動線計画を立てたが、展示室に対して作品点数が多く、さらに模型もあったため、一部をエントランスに出すことで対応した。一方で、本来は当館の倍程度の面積で展示する量の作品数を詰め込んだため、作品間隔を狭くせざるを得なかった。また、作品をじっくり鑑賞する人が多かったため、アンケートにおいて途中にイスがあるとよかったという意見がみられた。

7 観覧者

- (1) 土日祝日の達成率90%に対し、平日は達成率64%と大幅に下がっており、平日の観覧者数の少なさが要因であることが見て取れた。
- (2) 中日新聞が共催となっていたため、文化事業部主導で紙面掲載が複数回行われた。また、指定管理によるオンラインプレスリリースサイトにてプレスリリース配信も行った。中日新聞の紙面掲載については、会期序盤、中盤、終盤と定期的な掲載がなされ、講演会取材記事も当初1回の予定を2回掲載された。しかしながらコロナ禍の影響もあり観覧者数は伸び悩んだ。
- (3) 観覧グッズの販売が好調で、単月辺りで過去最高の売上となった。浮世絵関係の展覧会は今後も開催することがあるので、ミュージアムショップに常置していくことも検討できる。

④ 企画展「描かれた戦争—警察官が見た戦中戦後の愛知—」

1 会 期 令和2年12月5日（土）～令和3年1月11日（月・祝）

実開館日 27 日

2 観覧者数 1,971 人【目標 2,500 人】 1 日平均 73 人

3 期間中の催し物

主なものは「エ 教育普及活動」（12 ページ～）に記載

4 音声ガイドの利用状況 84 人（利用率 4.2%）

5 パンフレット 1,600 部発行（無料配布）

6 展示について

(1) 展示点数 280 点

(2) 警察官として愛知県警察部警備隊に配属された浄玄寺前住職の桜井純氏（故人）が、愛知県の戦・戦後を後年になって描いた絵画を紹介した。これまでも三河地震や戦争関連の展示で断片的に紹介してきたが、その全容については知られていなかった。しかし、昨年、一昨年の『研究紀要』で当館の野上学芸員が資料紹介したことに合わせて、今回その全容がわかる展示とした。

(3) 絵画というわかりやすい資料により、内地の戦争の悲惨さ、戦後の社会の大きな変化を直接的に伝えることができた。

7 観覧者

(1) 年末年始という比較的観覧者数が少ない時期であったことと、コロナ禍ということもあってか、目標の動員を達成することができなかった。

(2) 会期中、新聞社 2 社、テレビ局 2 社の報道があるなどマスコミの関心は高かったが、大きな観覧者の増加にはつながらなかった。これも新型コロナウイルス感染症の第 3 波の影響が関連したと思われる。

(3) 夏の「戦争へ行くということ」展と同様に県内市外の観覧者が 6 割ほどを占め、観覧無料の収藏品展としては多かった。これは熱田空襲や岡崎空襲など市外の出来事が紹介されていることが要因の一つと思われ、アンケートも市外からの観覧者が展示に好意的な内容を記していることが目立った。

⑤ 開館 30 周年記念特別展「家康と松平一族」

1 会 期 令和3年1月30日(土)～3月7日(日) 実開館日 32 日

2 観覧者数 5,400 人【目標 6,000 人】 1 日平均 169 人

3 期間中の催し物

主なものは「エ 教育普及活動」(12 ページ～)に記載

4 音声ガイドの利用状況 651 人(利用率 12%)

5 展示図録 2,200 冊発行 販売数 997 冊

6 展示について

(1) 展示点数 306 点(うちパネル展示 146 点)

(2) 本館開館 30 周年記念の特別展ということで市民ギャラリーの展示室を第 2 会場としこれまでになく規模での展示であった。

(3) 今までの松平の展示は、一家、二家程度のものであったが、本展示のように松平の多くの家の資料を一堂に集めたのは初めての試みであった。それぞれの家の関係性なども追及することができた。

(4) 特別展記念松平一族連続講座はコロナ禍の中での開催となったため、ZOOMやyoutubeを用いた配信など新しい試みを実施した。

7 観覧者について

(1) コロナ禍であったため目標を達成することはできなかったが、土日の入館者平均は 244 人と多くの方に来館いただいた。最終日土日は展示室の入場制限も行った。

(2) 第 1 会場(企画展示室)での観覧時間が長く、リピーターも多かった。

(3) 中日新聞との共催であったため中日新聞のみでの宣伝であり、他の媒体からの取材はなかったが来館者は多かった。

(4) 戦国期に関心のある層が厚いと感じた。また、来館者がツイッターなどでさかんに発信をしていた。

エ 教育普及活動

(ア) 講演会・講座

a 展覧会記念講演会・シンポジウム

開催日	演 題	講 師	聴講者数
5月16日	暮らしの道具から歴史を読み解く	久保 禎子氏 (一宮市尾西歴史民俗資料館学芸員)	中止
7月18日	戦場と兵士 ーアジア・太平洋戦争を中心にー	吉田 裕氏 (東京大空襲・戦災資料センター館長)	23
8月23日	出征兵士の手紙を読む	一ノ瀬 俊也氏 (埼玉大学教授)	中止
10月24日	江戸のなぞなぞ判じ絵の世界	岩崎 均史氏 (静岡市東海道広重美術館館長)	44
10月31日	浮世絵の戯画をたのしむ	神谷 浩氏 (徳川美術館副館長)	41
1月30日	特別展記念松平一族講座 「十八松平」の創出	平野 明夫氏 (國學院大學講師)	51
2月6日	特別展記念松平一族講座 「能見松平氏について」	堀江 登志実氏 (岡崎市美術博物館学芸員)	54
2月13日	特別展記念松平一族講座 「形原松平氏と三河湾」	小川 雄氏 (日本大学文理学部助教)	51
2月20日	特別展記念松平一族講座 「大給松平家の発祥について」	村岡 幹生氏 (中京大学文学部教授)	48
2月27日	特別展記念松平一族講座 「深溝松平家と当主家忠の日記ー 原本から読み解く『家忠日記』 ー」	大嶋 聖子氏 (淑徳大学アーカイブズ専門員)	53
3月6日	特別展記念松平一族講座 「家康から名字を授与された松平家」	柴 裕之氏 (東洋大学講師)	51
2月14日	第10回松平シンポジウム 「偕々広忠ハ良将ト感シ給フ」	コーディネーター：村岡 幹生氏 (中京大学教授) ほか	65

合計 481 人※内 37 人は松平シンポジウム安祥公民館での聴講者

b 歴博講座・入門講座

(a) 歴博講座

開催日	演 題	講 師	聴講者数
6月20日	夏のくらしと行事、風習	坂本 晃基 (本館職員)	中止
8月1日	戦争に行くということ —安城に残る兵士たちの資料から—	田中 里張 (本館学芸員)	中止
12月12日	戦中・戦後の安城の様相	三島 一信 (本館学芸員)	36
1月9日	こよみとくらし ～冬のくらしと行事・風習～	坂本 晃基 (本館職員)	11
3月20日	国史跡 本證寺境内 ～最近の発掘調査から～	後藤 麻里絵 (安城市埋蔵文化財センター職員)	28

合計 75 人

(b) 入門講座

開催日	演 題	講 師	聴講者数
5月9日	古文書手ほどき	三島 一信 (本館学芸員)	中止
5月23日			
6月13日			
6月27日			
7月11日			
7月25日			
8月8日			
8月22日			
11月8日	はじめの一步!安城の歴史	片岡 晃 (本館館長)	12
11月22日			14
12月20日			14
1月16日			14

合計 54 人

(c) 連続講座

村絵図で巡る安城今むかし ※全6回 定員 18 人

開催日	演 題	講 師	聴講者数
4月11日	「村絵図で巡る安城今むかし」	高山忠士氏 (安城市歴史博物館元館長)	中止
4月25日			
5月9日			
5月23日			
6月13日			
6月27日			

近代建築の魅力ーその保存と活用ー ※各回定員 15 人

10月10日	近代建築：未来に向けての修理・維持	石川新太郎氏 (博物館明治村 建築専門課長)	15
11月14日	安城市内の近代建築の特徴 ～緊急調査の事例から～	溝口正人氏 (名古屋市立大学大学院芸術工学 研究科教授)	22
12月19日	文化財建造物所有者の現状と課題	小栗宏次氏 (愛知県立大学情報科学部教授) (半田市小栗家住宅所有者)	13
3月13日	歴史的建造物の活用 ～六華苑の事例から～	水谷芳春氏 (桑名市市長公室ブランド推進課)	18

合計 68 人

(イ) 展示関連イベント

開催日	タイトル	関連展示	実施日	参加者数
4月1日～ 4月10日 5月20日～ 6月28日	開館30周年記念 もう一度見たい展示総選挙	ポスターで振り返る安 城市歴史博物館の30年	45日間	315
4月4日 4月5日	学芸員による常設展特別ガイド	同上	2日間	中止
4月25日	柏餅づくり 杉浦ひろ子氏 (安城エプロン会)	企画展「こよみとくらし」	1日間	中止
5月20日～ 6月28日	季節の道具に触れてクイズに答えよう! →こよみとくらしクイズにチャレンジ! へ変更	同上	36日間	226
5月20日～ 6月28日	こどもたちのしゅくだい	同上	36日間	116
5月30日	「箱寿司づくり」 古居敬子氏 (安城市食育推進会議委員)	同上	1日間	中止

7月18日～ 9月13日	折りの木に折り鶴を飾ろう	特別展「戦争に行くということ」	51日間	1,830
7月18日～ 9月13日	謎ときクイズラリー「失った思い出のカケラを探せ！」	同上	51日間	742
7月18日～ 9月13日	ユラボパネル展示 日本赤十字社と戦時救護活動	同上	51日間	5,532
7月18日～ 8月10日	パラシュート隊になって写真を撮ろう！	同上	21日間	250
8月1日～ 8月23日 ※土日のみ	回り灯籠を作ろう	同上	8日間	58
10月3日～ 11月15日	おもちゃ絵で遊ぼう！	特別展「江戸の遊び絵づくし」	38日間	2,511
10月3日～ 11月15日	「よって、たかって、こしらえる?!」フォトスポット	同上	38日間	695
12月5日	戦時下のレシピを再現 杉浦ひろ子氏(安城エプロン会)	企画展「描かれた戦争」	1日間	3
1月11日	上映会「この世界の片隅に」	同上	1日間	35
1月30日～ 3月7日	漫画家すずき孔さんオリジナル武将パネルフォトスポット	特別展「家康と松平一族」	32日間	559

合計 12,872 人

(ウ) 体験講座等

a 体験講座

開催日	講座名	講師	参加者数
5月3日～ 5月5日	鎧の試着会	指定管理者、博物館ボランティア	中止
7月24日～ 7月26日	夏休み自由研究相談会	文化振興課職員	6
8月30日	オリジナル風鈴づくり	指定管理者	78
12月19日	しめ縄飾りづくり	元刈谷しめ縄会	12
3月7日	鎧武者と撮影会	指定管理者	116

*「鎧の試着会」は5月3日・4日は事前予約制、5日は先着順。

計 212 人

b 歴史文化事業 (指定管理自主事業)

開催日	講座名	講師	参加者数
5月10日	姫きものを作ろう	榊原清美氏 (古裂美術工房)	中止
5月24日			
6月14日			
6月28日			
7月12日			
7月26日			
10月25日	姫きものを作ろう	榊原清美氏 (古裂美術工房)	10
11月1日			8
11月15日			8
11月22日			8
12月6日			8
12月13日			8
12月6日	ボール紙で本格甲冑を作ってみよう	加藤征男氏 ((一社) 日本甲冑武具研究保存会理事)	中止
12月20日			
1月17日			
1月31日			
2月21日			
2月28日			

合計 50 人
総合計 262 人

(エ) 歴博演芸場 会場：石舞台・エントランスホール 鑑賞無料

開催日	演題・演奏者	演奏者	鑑賞者数
4月4日	改修工事竣工記念コンサート	おかげん雅楽会	中止
5月5日	さとの音楽祭	長屋 梨沙氏 (アイリッシュハーブ)他	中止
8月28日	三味線コンサート	山口 晃司氏	中止
10月18日	和太鼓競演	安城太鼓会ほだら	90
1月10日	三河万歳「新春招福の初舞」	安城三河万歳保存会	31
1月30日	書のパフォーマンス	山本 祐司氏 (書道家) 安城高校書道部 ※実演は見送り。特別展の期間中映像と作品を展示。	中止
2月7日	開館30周年記念コンサート	おかげん雅楽会	30
3月7日	和モノフェス演舞	刈谷城盛上げ隊	161

合計 312 人

(オ) 歴博イベント

開催日	タイトル	参加数
4月4日～4月5日	竣工記念 学芸員による常設展特別ガイド	中止
4月4日	安城市歴史博物館 改修工事竣工記念セレモニー	中止
4月18日	懐かしの“車” 写生大会&写真撮影会	中止
8月29日～8月30日	ナイトミュージアム	博物館ナイトツアー
		土器ドキ晩ごはん
12月19日～12月25日 1月5日～1月16日	SNSフォローでお菓子	29
12月26日～12月27日 1月5日～1月11日	歴博博物館クイズラリー①	73
1月12日～1月29日	歴博博物館クイズラリー②	19
1月30日～3月7日	「歴博福よせ雛」	6,183
3月7日	安城コスプレオールスターズ with 安城市歴史博物館	中止
3月13日～3月31日	歴博博物館クイズラリー③	92
3月20日	弥生土器文様ネイル体験 共催：慈恵歯科医療ファッション専門学校	20

合計6,513人

(カ) 刊行物

a 特別展・企画展図録 (パンフレット)

企画展「安城の今昔2 こよみとくらし 一冬暖夏涼・ 季節道具ー」	A4	8頁	1,600部
特別展「戦争に行くということ」	A4	81頁	1,000部
企画展「描かれた戦争」	A4	8頁	1,600部
特別展「家康と松平一族」	A5	158頁	2,200部

b 安城歴史研究第46号 A5 87頁 250部

c 年報29号 A4 50頁 350部

d れきしみち 全て A4 8頁 2,500部
No.117 7月号、No.118 10月号、No.119 1月号、No.120 4月号

e 催し物案内

2021年4月～9月	83,700部
2021年10月～3月	84,200部

(キ) 見学学習

■ 市内小学6年生(企画・特別展、常設展)見学

月日	曜	学校名	学年	人数	月日	曜	学校名	学年	人数
7	14	火	安南小	6	58				
7	15	水	安南小	6	59				
10	30	金	安北小	6	99				
12	17	木	今池小	6	75				
								小学校児童数 計	291人
								R元	1,944人

● 市内小学校(6年生見学学習以外 参考)

月日	曜	学校名	学年	人数	備 考					
10	23	金	三安小	4	109	社会科学習・遠足				
								小学校児童数 計	109人	
								R元	65人	

■ 市内中学年生(常設展、企画・特別展)見学

月日	曜	学校名	学年	人数	月日	曜	学校名	学年	人数
7	30	木	東山中	3	4				
9	30	水	明祥中	2	128				
※東山中は、総合的な学習で、歴史に関心のある生徒が見学に来た。								中学校生徒数 計	132人
								R元	1,789人

● 市外小中学校(児童・生徒)(常設展、企画・特別展)見学

月日	曜	学校名	学年	人数	備 考				
		なし							
								市外中学校生徒数 計	0人
								R元	6人

※愛知県立高校の初任者研修として、三河地域の歴史科初任者11名が、10月13日(火)常設展、特別展を見学した。

(ク) 中高生の職場体験、教員の異業種体験受け入れ状況について

【市外高等学校】 9 : 00～15 : 30

学 校	発掘 体験	土器 洗い	見学学 習補助	文化財 保護	資料 整理	収蔵庫 見学	土器 作り	インタ ビュー	受 付	備 考
知東高		○			○			○		1日間・女子2
※文化財保護活動：史跡巡回（点検、除草）									参加生徒数 計	2人
									(R元)	13人

※市内中学校2年生は実施なし。

【教 員】 7～8月 8 : 30～17 : 00

所属校	発掘	土器 洗い	学芸資 料整理	文化財 保護	体験資 料整備	収蔵庫 見学	火切り 板加工	受付・ イベン ト補助	懇談	10年経験者研 修初任者研修
なし										
※文化財保護活動：史跡巡回（点検、除草）									参加教員数 計	0人
									(R元)	6人

(ケ) 博物館実習

博物館学芸員養成講座を持つ大学からの要請により実習をおこなった。

a 期 間：7月29日（水）～7月31日（金）、8月4日（火）～6日（木）（6日間）

b 実習生： 愛知大学 2名
愛知学院大学 1名
金沢美術工芸大学 1名
中京大学 2名
八洲学園大学 1名 計7名

c 実習日程

開催日	午 前	午 後
7月29日	博物館見学	埋文センター・市民ギャラリー見学 常設展示の展示替え説明
30日	博物館業務（講義） 文化財保護行政（講義）	考古資料の整理 文書資料の取扱い
31日	常設展展示替え準備	常設展展示替え準備
8月4日	考古資料（木製品）の取扱い	史跡見学
5日	民具資料の取扱い	民具資料の取扱い
6日	常設展展示替え	常設展展示替え 展示替えプレゼンテーション

(コ) 出前授業等

月 日	演 題	対 象	講師割当	参加人数
6月18日	安城の今昔2こよみとくらし	安祥公民館高齢者教室	坂本	中止
7月9日	東京五輪がもたらしたもの	東部公民館高齢者教室	館長	中止
8月7日	三河真宗と安城	シルバーカレッジ21	野上	中止
11月12日	安城松平家	今村楽寿会連合会	野上	41
12月16日	木戸町の歴史	木戸町内会	館長	中止
			合 計	41

オ 地域連携活動

(ア) 博物館ボランティア

新型コロナウイルス感染症に伴い活動中止（例会は開催）

(イ) 学校教育活動への支援

- a 小学3年生の「昔の道具」学習などに対し、民具資料を貸し出し。（1件）

(ウ) 指定管理事業

- a 体験講座講師、歴博イベント講師として、市内団体や市民の方に依頼した。

- b イベント運営・広報展開事業

- (a) 地元町内会のさとまつりへの協力依頼

東尾町内会、西尾町内会、古井町内会に、さとまつりの運営に協力を依頼した。コロナの影響にて参加依頼は中止したが、来年度以降も運営協力を依頼した。

- (b) 日の出町商店街、朝日町商店街との協働

日の出町商店街の理事長、朝日町商店街の理事会にて、展覧会チラシやポスターのPR展開を依頼した。また、緊急事態宣言の発令によりイベントは中止になったが、商店街とのコラボイベント「GoTo商店街事業『フォトウォークラリー』」の開催にむけて地元商店街と準備を進めた。

- (c) 本の王国南安城店とのPRコラボ

「本の王国 南安城店」から、各展覧会の関連書籍を仕入れ、ミュージアムショップで販売した。また同店店舗でも、歴史博物館の展覧会の関連書籍コーナーを設置してもらい、展覧会のPRをおこなってもらった。

- (d) 安城高校書道部に出演依頼

特別展「家康と松平一族」の展示関連イベントとして書のパフォーマンスに出演依頼。緊急事態宣言の発令で中止となったが、十四松平家の家名を展覧会期間中にエントランスホールに掲示した。

- (e) 慈恵歯科医療ファッション専門学校とのコラボ事業

歴史博物館近くにある「慈恵歯科医療ファッション専門学校」（安城市相生町）のファッション学科の学生さんと協働イベント「弥生土器文様ネイル体験」を開催した。

カ 指定管理者によるその他事業

(ア) PR・広報等

a HPアクセス数

年度	総 数	1ヵ月あたり	1日あたり
27	37,283件	3,106件	101件
28	63,695件	5,308件	174件
29	44,571件	3,714件	122件
30	44,796件	3,733件	124件
令和元	44,156件	3,679件	120件
2	74,051件	6,171件	205件

b SNSの更新 ※末尾()内の数字は元年度実績

(a) Facebook (フェイスブック) 投稿数 207回 (103)

(b) Twitter (ツイッター) 417ツイート (201)

※リツイートの他、市民ギャラリー・安祥城址公園の投稿も含む

(c) Instagram (インスタグラム) 投稿数 154回 (43)

※安城市民ギャラリー、安祥城址公園の投稿も含む

c 新聞等でのPR ※末尾()内の数字は30年度実績

(a) 広告掲載 22回 (3)

・特別展「戦争に行くということ」

PR TIMES (有料プレスリリース配信) 7月17日

中日新聞 (全三河版) 7月22日

朝日新聞 (名古屋市版) 8月8日

・特別展「江戸の遊び絵づくし」

中日新聞 開催社告 9月15日

中日新聞 県内版・WEB 10月3日

中日新聞 作品解説「上」 10月8日

中日新聞 作品解説「下」 10月9日

中日新聞 記念講演会紹介 10月25日

中日新聞 記念講演会紹介 11月1日

・企画展「描かれた戦争—警察官が見た戦中戦後の愛知—」

PR TIMES (有料プレスリリース配信) 12月2日

ロコプレス名古屋 (有料プレスリリース配信) 12月2日

中日新聞 (全三河版) 12月6日

・特別展「家康と松平一族」

中日新聞HP・中日プラスにて12月～WEB告知

中日新聞 開催社告 1月25日掲載

中日新聞 内覧会紹介 1月31日掲載

PR TIMES (有料プレスリリース配信) 1月30日

中日新聞 広告 2月2日

中日新聞 広告 2月9日

- 中日新聞 作品解説「上」 2月11日
 中日新聞 作品解説「下」 2月12日
 中日新聞 広告 2月17日
 中日新聞 松平シンポジウム紹介 2月19日
- (b) 新聞等掲載(報道機関発表、掲載依頼) 45回(11)
- ・特別企画「ポスターで振り返る安城市歴史博物館の30年」
 安城ホームニュース 4月10日掲載
 広報あんじょう「今月のいいね!」 5月号掲載
 - ・企画展「安城の今昔2 こよみとくらしー冬暖夏涼・季節道具ー」
 情報誌みどり春号「インフォメーション」欄 4月1日掲載
 中日新聞 5月8日
 KATCH「キャッチタイム」5月27日放映
 朝日新聞「美術館・博物館」欄 6月9日掲載
 安城ホームニュース 6月12日掲載
 PitchFM「Pitch HAPPY市場」 6月24日放映
 - ・特別展「戦争に行くということ」
 安祥公民館だより7月号 6月12日掲載
 愛知県生涯学習情報誌「まなびいあいち」
 情報機関提供紹介欄 6月15日掲載
 情報誌みどり夏号インフォメーション欄 7月2日掲載
 安城ホームニュース観覧券プレゼント欄 7月10日掲載
 安城市記者クラブへプレスリリース配信 7月31日
 中日新聞朝刊 西三河版情報 7月31日掲載
 日赤あいち夏号情報 8月1日掲載
 中日新聞朝刊 西三河版記事 8月1日掲載
 NHKニュース 8月10日放映
 CBCニュース 8月14日放映(Yahoo!ニュース、LINE NEWS、dメニューニュースに転載)
 朝日新聞朝刊 西三河版記事 8月15日掲載
 中京テレビニュース 8月18日放映(Yahoo!ニュース、LINE NEWS転載)
 週刊新潮8月27日号情報 8月27日掲載
 - ・特別展「江戸の遊び絵づくし」
 安城ホームニュース プレゼント枠 9月25日掲載
 情報誌みどり秋号インフォメーション欄 10月1日掲載
 安祥公民館だより 10月号掲載
 オンラインプレスリリース配信サイト「Valuepress」「プレスリリースゼロ」「PR FREEPR」配信 10月3日
 ZIP FM「FUN DAY TRIP」 10月3日放映
 テレビ愛知 10月4日放映
 ハピなびあおみ プレゼント枠 10月8日掲載

PitchFM「Pitch HAPPY市場」 10月9日放映

NHK「お昼のニュース」 10月27日放映

・企画展「描かれた戦争」

KATCH取材

PitchFM 12月11日放送

朝日新聞 三河版記事 12月11日掲載

中日新聞 西三河版記事 12月15日掲載

東海テレビお昼のニュース 12月22日放映

NHK 12月25日放映

・特別展「家康と松平一族」

「月刊なごや」街のミニ情報欄 2020年12月号・2021年1月号掲載

「ハピなびあおみ」招待券プレゼントコーナー 1月8日掲載

安城ホームニュース 1月22日掲載

その他

中日新聞 5月8日掲載 安城ふるさとガイドの会

愛知県生涯学習推進センター情報誌「まなびいあいち」

No.69(2020年7～9月)「情報機関提供紹介」

ぶらりん安城 7・8月合併号「安城市歴史博物館」紹介

安城ホームニュース 8月28日掲載 ナイトミュージアム紹介

朝日新聞 10月7日掲載 戦争資料の寄贈増

安城ホームニュース 11月27日掲載 来館者100万人達成

安城ホームニュース 2月12日掲載 歴博福よせ雛

(c) 新聞折り込みチラシ 0回(3)

※コロナ渦にてイベント中止となり、折込での広報展開は中止

d その他

(a) 企画展・特別展ともに関連する県内外の施設や大学・専門学校をリストアップして、展覧会チラシを送付して展覧会の広報をおこなった。

(b) 開館30周年記念として特別企画「ポスターで振り返る安城市歴史博物館の30年」を開催した。

(c) 公園事業の活性化として「さとのマルシェ」を年度を通して複数回実施した。

(d) 特別展「戦争に行くということ」において、日本赤十字社愛知県支部に協力のもと、コラボパネル展示「日本赤十字社と戦時救護活動」を実施。愛知県支部の情報誌『日赤あいち』にてパネル展示の案内とともに展覧会が掲載された。

(e) JAF主催によるスマートフォンアプリ企画に参加して、特別展「戦争に行くということ」「家康と松平一族」の観覧料割引を実施。JAF全国版のWEB情報誌にて展覧会の案内をおこなった。

(f) 平成3年の開館からの博物館入館者累計が10月31日に100万人に達したこととともない、入館者100万人達成の記念式典を開催した。

(g) 安祥文化のさと一帯の歴史的価値を知ってもらうため、城址公園周辺に「家康の源流・安城松平発祥の地」と記した幟を設置した。

- (h) 西尾市出身の漫画家すずき孔氏に依頼し、安城松平家4代（親忠・長忠・信忠・清康）のオリジナル武将キャラクターを制作。特別展「家康と松平一族」では、簡単な解説を付した等身大の武将パネルフォトスポットを設置。展覧会終了後も、常設展示室に設置している。
- (i) 特別展「家康と松平一族」の期間中にぷらす珈琲店で「安城城浮城カレー」と「安城松平4代累（かさね）抹茶ショートケーキ」をコラボメニューとして提供した。
- (j) 特別展「家康と松平一族」において、観覧料割引券を制作。市内公共施設にPRツールとして配布した。
- (k) 若年層にも歴史に親しんでいただけるように、特別展「家康と松平一族」において「歴史を学ぶ！学割プラン」を設定。学生証提示で観覧料300円割引を実施した。
- (l) 展覧会の準備期間中（展示と展示の端境期）に「歴博クイズラリー」を開催。企画展・特別展が開催していないときに来訪したお客様に常設展や城址公園にまつわるクイズを出題し、少しでも楽しんでいただけるよう工夫した。

(イ) 安祥文化のさと会員

2年度会員数 180名（令和元年度：129名）

内容：会費 500円

入会特典

情報誌「れきしみち」・展覧会チラシ等を発送

会員証提示で常設展観覧料が無料

会員証提示で有料展示観覧料が2割引

ミュージアムショップ・ぷらす珈琲店 1,000円お買い上げで5%割引

会員限定「さとスタンプラリー」でスタンプ数に応じた記念品をプレゼント

(ウ) JAF会員優待サービス

2年度利用者 433人（元年度：315人）

JAF会員証提示で常設展2割引

JAFのホームページに施設案内が掲載される。

(エ) ミュージアムショップ

特別展・企画展にあわせて、関連する書籍を選定して販売をおこなった。

漫画家すずき孔氏作画の安城松平家4代武将キャラクターのオリジナルグッズを制作・販売した。

年間を通じて人気のある土偶・埴輪グッズについて、新規の商品を仕入れることで商品数を増やした。

子どもを対象にしたグッズ展開として、遊ぶ折り紙BOOK「コチャエ」シリーズの本の販売を始めた。

(オ) 公園事業

開催日	タイトル	参加数
4月4日	さとのマルシェ	中止
4月18日	懐かしの“車” 写生大会&写真撮影会	中止
5月5日	さとのマルシェ	中止
6月6日	さとのマルシェ	中止
7月25日	さとのマルシェ	63
8月28日	さとのマルシェ	331
8月29日	さとのマルシェ	850
8月30日	さとのマルシェ	655
9月19日	さとのマルシェ	164
10月17日	さとのマルシェ	308
10月18日	さとのマルシェ	778
11月21日	さとのマルシェ	158
2月7日	さとのマルシェ	中止
3月6日	さとのマルシェ	155
3月7日	さとのマルシェ	267

合計 3,729 人

キ その他

(1) 無料開館

5月17日(日)、国際博物館の日(5月18日)にちなみ、常設展を観覧無料 中止

(2) 刈谷城盛上げ隊との連携事業

特別展「家康と松平一族」会期最終日である3月7日(日)に刈谷城盛上げ隊と連携して「和モノフェス」(刈谷城盛上げ隊の演舞・鎧武者と撮影会・さとのマルシェ)を開催。

(2) 名鉄ハイキングへの協賛

3月28日(日)に開催された名鉄ハイキングで立ち寄り箇所となったことから、ハイキング参加者で常設展を観覧した方にテイクアウトのホットコーヒー1杯プレゼントという協賛をした。

※名鉄ウォーキング参加者：345名(うち常設展観覧者：55名)

(2) 令和3年度事業計画案

ア 今年度の方針（重点努力目標）

- (ア) 引き続き収蔵庫の整理を進め、収蔵品の把握に努めるとともに、次年度には収蔵品展が行えるようにする。
- (イ) 特別展・企画展は、観覧者の目線を意識した展示に努める。展示意図を明確にし、一般の人にわかりやすい解説にする。
- (ウ) 常設展示室の展示替えを体系的に実施する。
- (エ) 調査研究を進めるとともにその成果として研究紀要発刊のための原稿作成をする。
- (オ) 指定管理者のノウハウを活かして、集客を促す広報PR展開を実施する。
- (カ) 安祥文化のさとまつり・ナイトミュージアムの開催による施設PRを充実する。
- (キ) 施設パンフレットをリニューアルし、PRにも利用できる汎用性のあるものを作成する。
- (ク) ミュージアムショップは、展覧会の企画と連動したグッズを展開し、更なる充実を図る。

イ 収集・保管活動

収蔵品整理 8,000 点を目標に進める。

ウ 展示活動

(ア) 常設展

a 展示替えの実施

南吉コーナー（6月）、茶屋コーナー・弥生コーナー（8月）、その他随時。

b 特別展・企画展

(a) 令和3年度

種別	名 称	期 間	目標値 (人)
企画展	安城の今昔3 お米のモノがたり	4月3日～6月27日	7,500
特別展	美 vid Ukiyo-e! 美人画浮世絵展 (企画協力)	7月17日～9月12日	7,000
特別展	加賀本多家の至宝 (仮題)	10月2日～11月14日	6,000
企画展	三河万歳だらけ (仮題)	12月4日～1月16日	3,000
特別展	女子のたしなみ (仮題)	2月5日～3月20日	4,500
合 計			28,000

(b) 参考 令和4年度 予定

種別	テーマ (仮題)	期間	備考
企画展	安城のあゆみ	4月～6月	収蔵品展 市制施行 70 周年記念
特別展	妖怪・お化け浮世絵	7月～9月	企画協力
特別展	健康と歴史	10月～11月	市制施行 70 周年記念

企画展	勉強って面白い？	12月～1月	収蔵品展（教育・学校）
特別展	あさきゆめみし（漫画と歴史）	2月～3月	

エ 教育普及活動

- (ア) 講演会・講座・シンポジウム
 - a 特別展・企画展の記念講演会
 - b 連続講座「村絵図で巡る安城今むかし」（全6回）
 - c 入門講座「古文書手ほどき」（全8回）
 - d 連続講座（下半期）
 - e 松平シンポジウム
- (イ) 展示関連イベント
 - a お米のモノクイズ
 - b 東尾農業倉庫と農具実演見学会
 - c お米づくりではたらくキカイ大集合！
 - d 美人画の団扇を作ろう
 - e 日本髪の結髪実演
（下半期は計画中）
- (ウ) 夏休み事業
 - a 自由研究相談会
 - b ナイトミュージアム
 - c 回り灯籠を作ろう
 - b オリジナル風鈴づくり
- (エ) 歴博演芸場・ミニコンサート
 - a 三味線による演奏
 - b 和のマジックショー
 - c 三河万歳
（下半期は計画中）
- (オ) 歴史体験講座
 - a 姫きものを作ろう 全6回
- (カ) 刊行物
 - a 特別展図録
 - b 企画展パンフレット
 - c 文書史料集成
- (キ) その他
 - a 見学学習
 - b 職場体験学習
 - c 博物館実習
 - d 出前授業

オ 地域連携活動

- (ア) 博物館ボランティア
 - a 常設展示ガイド（毎月2回）
 - b 見学学習対応
 - c 安祥文化のさとまつり
 - d 研修
- (イ) その他
 - a 地域団体・市民講師の活用
 - b 近隣施設との連携
 - c 安城駅前商店街との連携
 - d 近隣の教育機関との連携
 - e 県内外市町村との連携

カ その他

- (ア) 国際博物館の日（5月18日）にちなみ無料開館（5月16日（日））
- (イ) 館内案内表示・公園内案内表示・展示看板の多言語化
- (ウ) 安城市歴史博物館リーフレットのリニューアル